

「安井小学校教育環境整備事業基本計画(素案)」に対するパブリックコメントの結果及び市教委の考え方について

平成30年2月26日(月)から平成30年3月28日(水)にかけて実施しました意見提出手続(パブリックコメント)について、1団体及び4名から22件のご意見をいただきましたので、ご意見の概要とそれに対する西宮市教育委員会の考え方を公表します。

■ 意見提出者数および意見件数

① 提出人数

(年代別・男女別)

年代	男性	女性	未記入	計	団体
40代		1		1	1
70代	1			1	
未記入			2	2	
計	1	1	2	4	個人・団体 合計 5

(居住地域別)

居住地域	件数
安井小学校区内	2
上記小学校区以外の市内	3
合計	5

(提出方法別)

提出方法	件数
郵送	1
電子メール	2
FAX	1
持参	1
合計	5

② 意見件数

(意見項目別)

意見項目	件数
1章 安井小学校の現況	
2 児童数・学級数の今後の推移	1
2章 校舎改築の基本方針	
2 基本計画策定の経過	1
3 改築校舎等の整備内容	5
4 学校づくりの方針	2
3章 校舎改築の基本計画	
1 主な計画諸室等	2
2 校舎の配置計画	2
4章 改築校舎の計画	
1 施設概要	1
その他	8
合計	22

(回答分類別)

回答分類	内 容	件 数
① 素案に記載済	意見内容が既に素案に盛り込まれているもの。	0
② 意見を反映	意見内容を基に、素案の修正や追加を行ったもの。	0
③ 今後の参考・検討	素案の修正はしないが、今後事業を進める際に参考とするもの、検討していくもの。	8
④ 対応が困難	対応が困難なもの、市教委の考え方と方向性が合致しないもの。	4
⑤ その他	疑問・質問・感想など	10
	合計	22

安井小学校教育環境整備事業基本計画(素案)へのパブコメ

■ 意見の概要及び市教委の考え方

意見番号	ご意見の概要	件数	西宮市教育委員会の考え方	素案ページ	回答分類
1章 安井小学校の現況					
2 児童数・学級数の今後の推移					
1	児童数・学級数の今後の推移について、根拠を示してほしい。想定以上に児童数が増加することはないか。	1	今後の児童数については、住民登録されている未就学児童数を基礎に算出しています。算出にあたっては、住宅開発を加味しており、児童の転出入等の一定の不確定要素はありますが、想定どおりに推移していくと考えております。	3	⑤
2章 校舎改築の基本方針					
2 基本計画策定の経過					
2	改築推進委員会が6回開催されているが、資料と議事録を開示してほしい。	1	改築推進委員会での配布資料、議事録については、市ホームページに掲載しております。	4	⑤
3 改築校舎等の整備内容					
3	「改築校舎は、鉄筋コンクリート造4階建て」となっているが、プール及び関係諸室のみの配置であるため、「一部4階建て」とすべきである。	1	ご意見のとおり、4階となるのは校舎の一部ですが、建築基準法上の表記は「4階建て」となるため、それにあわせる形で記載しております。	4	⑤
4	体育館は改築の対象となっていないが、耐震性能や児童数増加への対応、また今後の改築計画の予定があるのかを教えてください。	1	体育館は昭和60年築のため、新耐震基準を満たす建物となっております。築年数からも改築の対象としておりません。今後については、劣化度の状況等を確認しながら、他校も含めた全体計画の中で検討していくこととなります。	4	⑤
5	育成センターは平成27年完成ですが、今回、もう一棟新築される計画となっている。現育成センターの計画時の想定と比べて、利用児童数が増加したのか。	1	安井育成センターは、利用児童数が増加しており、今後、待機児童が発生する見込みであります。また、児童福祉法の改正に伴い、高学年も受入れ対象となったことや、1センターを40名定員にしなければならなくなったことから、施設の増床が喫緊の課題となっております。このように、現センターの整備計画時と比べると、法改正による受入れ学年の拡大や保育需要の増加による利用児童数の増加が見込まれ、当時より育成センターに関する状況が変化しております。	4	⑤
6	地域の避難所としての機能について、プールが屋上になることで、災害時等の緊急時にプールの水を利用しにくくなると思われるが、対応策は検討しているのか。	1	プールの水は消防活動のため、常時貯水することとなっております。災害時等の緊急時の水源については、ご意見をふまえて、設計時に検討してまいります。	4	③
7	校舎改築等にかかる整備費、約49.1億円について、近年に改築した市内の学校との比較を教えてください。	1	整備費については、仮設校舎が必要であることや、宮水への配慮が必要な地域であること、空中通路を設置する方針であること等をふまえ、試算しており、他の校舎改築事業と比較すると高くなっております。	4	⑤

安井小学校教育環境整備事業基本計画(素案)へのパブコメ

■ 意見の概要及び市教委の考え方

意見番号	ご意見の概要	件数	西宮市教育委員会の考え方	素案ページ	回答分類
4 学校づくりの方針					
8	エコスクールを学校づくりの方針とするのであれば、学校での利用エネルギーは、太陽光発電等の自家発電で100%近く補い、屋上緑化も100%を目指すべきである。	1	太陽光発電や屋上緑化等で、環境負荷の低減に貢献することも重要ではありますが、屋上の設置スペースが限られる中、設置費や維持管理費も考慮した計画を検討してまいります。	6	④
9	安全な学校として、建材に含まれる化学物質による影響を軽減するため、シックスクール対策にも力を入れていただきたい。	1	工事で使用する材料につきましては、規制対象となる化学物質の放射量が小さく使用規制のないものとしております。また、校舎竣工時には、化学物質の濃度が文部科学省の定める学校環境衛生基準値以下であることを確認しております。	6	③
3章 校舎改築の基本計画					
1 主な計画諸室等					
10	「災害時の避難を想定」とあるが、「災害時の避難場所設定」ではないか。	1	安井小学校は改築後も災害時等の避難所となることに変わりはないため、災害時の避難を想定した機能を備えるという趣旨で、記載しております。	7	⑤
11	体育館への空中通路について、施設のバリアフリー化の点から、体育館敷地側にもエレベーターを設置すべきである。	1	体育館敷地側には、エレベーターを設置する計画とはしておりません。車いす等を利用する児童は、教職員等が付き添って、道路を横断することで対応したいと考えております。	7	④
2 校舎の配置計画					
12	学校敷地東側の砂埃の対応として、植栽を計画しているが、他校での状況をふまえ、どのような整備を考えているかを教えてほしい。	1	これまでの改築校等では、砂埃を低減するため、植栽や防塵ネットの設置、土壌改良剤の使用等を行っております。今後、設計段階で影響をできる限り低減できるように検討してまいります。	8	③
13	敷地の出入口が北側に1ヶ所、南側に2ヶ所あるが、緊急時、多数の児童が避難するには少ない気がするので、西側にも出入口を設けるべきである。	1	敷地西側には給食物資搬入車両の出入口があり、緊急時には児童の避難動線として利用することを検討してまいります。	8	③
4章 改築校舎の計画					
1 施設概要					
14	敷地北東にある約750㎡のスペースについて、利用方法はどのように考えているのか。ビオトープを整備する等の環境教育の場にしてはどうか。	1	運動場には学級菜園等を設置する必要があります。運動スペースとしては、できる限り整形で確保したいと考えており、北東スペースには学級菜園を配置すること等を設計段階で検討してまいります。	10	④

安井小学校教育環境整備事業基本計画(素案)へのパブコメ

■ 意見の概要及び市教委の考え方

意見番号	ご意見の概要	件数	西宮市教育委員会の考え方	素案ページ	回答分類
その他					
15	児童の登下校時の安全確保の点から、学校東側道路（万葉苑筋）を一方通行にし、歩道を設け、通学路にすべきである。	1	道路の一方通行については、交通の安全と円滑を図る観点から、地域の要望等も考慮し、公安委員会（警察）が決定することになります。当該道路はバス路線にもなっており、一方通行については、多くの方々に影響があるため、現状では困難と考えられます。	—	④
16	今後、実施される設計での内容は、住民にどのような形で説明される予定かを教えてほしい。	1	設計を進めていく中で、近隣協議は開発事業等におけるまちづくりに関する条例により必ず行うこととなります。説明方法については、説明会の開催等を検討しています。	—	⑤
17	施設整備とあわせて、授業内容を充実させるための教育指導に必要な機器も導入してほしい。また、児童が幅広い知識を習得できるように図書の蔵書を充実させてほしい。	1	教育指導に用いる機器については、設備基準等を設けて、改築校だけではなく、全市的な対応をとっております。また、図書の蔵書についても同様に考えております。	—	⑤
18	運動や遊びを通して、児童が心身を発達させることができる施設を、校内や運動場に設けてほしい。	1	現在、安井小学校には総合遊具が設置されており、今後の設計では、その点も考慮して、改築後の運動場等について検討してまいります。	—	③
19	工事期間中、万葉苑筋にも工事車両が通行することになるが、大型車両が通行するには道路幅が狭いため、安全対策は十分にとってほしい。工事期間中、近隣被害が発生したときの連絡先などを教えてほしい。	1	ご意見のとおり、工事中の安全対策を十分に行い、安全の確保に努めていきます。工事中の安全対策につきましては、工事施工者決定後に説明させていただきます。また、工事期間中の連絡先につきましては、工事着手に先立って行う工事説明会等でご案内させていただきます。	—	③
20	現在の学校教職員の通勤状況（自動車・バイク・自転車・徒歩等）を教えてください。工事期間中や改築後で通勤状況が変わることはないのか。	1	大半の教職員が公共交通機関や自転車等を利用して通勤しております。工事期間中や新校舎竣工後も、現況と同程度の駐輪スペース等を設ける計画としております。	—	⑤
21	既存校舎は建築年からアスベストが使用されていると考えられ、解体工事時は飛散防止対策をとることが必要である。環境省が公表している「建築物等の解体等工事における石綿飛散防止対策に係るリスクコミュニケーションガイドライン」によるリスクコミュニケーションを実施してほしい。	2	解体等の工事を行う建物におけるアスベスト含有材料の使用状況や、アスベスト除去工事の際の飛散防止対策については、近隣にお住まいの方、児童の保護者、教職員の方々に対しまして丁寧に説明してまいります。	—	③